

Rotary



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 石川 元信

幹 事 谷田部 修

会報・雑誌委員長 田崎 信孝

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3032号 2024年1月30日(晴れ) 第28回例会 会員数103名

## ハイブリッド例会



点 鐘 石川(元)会長

司 会 副SAA 田嶋会員

◇ロータリーソング「それでこそロータリー」

◇本日のランチ 小付 煮物 サーモンピカトマト  
ソース添え 香の物 汁 御飯 デザート

## ビジター紹介

小林(正)副会長

◇宇都宮市 建設部 LRT整備課 協働広報室  
室長 安保 雅仁 様(卓話者)  
主事 郡司 佳菜子 様

## 会長挨拶

石川(元)会長

皆様、こんにちは。こちらに立つというのが辛くなり、胃がきりきりするという感じが続いて参ります。今日は何を話そうかと思っていたところ、お手元の「ロータリー財団の寄付について」に、理事長 千玄室とありました。千玄室は裏千家の大宗匠で、100歳を超え、かくしゃくとし、淡交会というお茶の方ではお祝いをしたりしています。人というのはどうやって歳をとっていくのかと思うのですが、『ロータリーの友』の「友愛の広場」に丸亀RCのロータリアン、横田さんという方の投書で、「人というのは年で歳をとるのではない。その心の持ちようによって歳をとってくる。」と、サミュエル・ウルマンのある詩の一説をとらえながら書いていました。また、「ロータリーの会員」から「ロータリアン」に変わっていくのはどういうことなのかを書いてあって、非常に感銘を受けました。以前先輩に、「ロータリアン」と「ライオンズ」がどう違うか聞いて、「ライオンズは自分で奉仕をする、ロータリアンは奉仕をする人を作っていくんだ」と言われた記憶があります。私たち一人一人が、新たな奉仕をする

人、やる気がある人を作っていくのがロータリアンだろーと思っっています。投書の中では、70歳を過ぎた会員の方が、「無線技士の免許」を取ったことをにこやかに話しかくしゃくとしていることに、同じテーブルの人が勇気を貰い、元気になった。これも自分ができる奉仕なんだ、ということが書いてあります。奉仕は仏教でいうお布施でもあります。お金のいらないお布施、無財の布施の中に「和顔愛語」があります。穏やかな顔、穏やかな言葉によって隣の方を明るくしていくということです。「和顔愛語」。お布施、奉仕でもあると思っっていますので、今日は無理をして、笑って話をさせていただいております。挨拶にかえさせていただきます。

◇(R) 米山記念奨学会より表彰

&lt;米山功労者&gt;

マルチプル 辻 裕司会員(8回目)



メジャードナー 宮下 浩会員(40回目)

※累計400万円でクリスタルの盾の贈呈

◇R財団より表彰

&lt;PHF&gt;

小林 弘治会員

関 元明会員

&lt;マルチプルPHF&gt;

金田 剛会員(1回目)

鈴木 明会員(1回目)

手塚 正智会員(1回目)

相馬 克美会員（2回目）  
福田 治雄会員（4回目）  
入江 武会員（4回目）  
石川 元信会員（4回目）  
五月女大介会員（4回目）  
辻 裕司会員（4回目）

◇ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）  
パートⅠ・Ⅱ・Ⅲの修了書の授与  
伴 誠会員、石川元信会員、小林正明会員、  
谷田部修会員、太城敏之会員（パートⅢのみ）



### 幹事報告

谷田部（修）幹事

◇2月6日（火）はIMの振替休会  
◇R財団から「寄付者の皆様へ」のレター、テ-  
ブルに配布。確定申告用領収書（レターBOX  
に配布）の説明記載あり。



### 委員会報告

◇スマイルボックス委員会 菊地（正）委員長  
小林弘治会員

28日に行われた大人の休日ゴルフにおいて、  
パートナー、ハンデに恵まれて優勝することがで  
きました。また次回、よろしくお願い致します。



### 卓 話

「ライトラインについて」

宇都宮市 建設部 LRT整備課 協働広報室



室長 安保 雅仁 様

本日は、宇都宮市が目指すまちづくりと、昨年  
8月26日に開業しました芳賀宇都宮LRT（愛  
称：ライトライン）の事業概要と開業後の状況や  
開業に伴う効果についてご説明したいと思います。

－ パワーポイントにて説明 －

ライトラインの開業後、全国から視察が殺到し  
ています。宇都宮といえば餃子ですが、約30年  
前に市の職員が家計調査で、餃子の消費量が全国  
トップだったことに気が付いて町おこしに活用し  
たことが発端となっております。他に、ジャズ、  
自転車、大谷、ブレックスなどありますが、新た  
に、ライトラインが全国から注目されて、シテ

ールスの目玉の一つとして加わったところです。

これは各種ランキング調査ですが、住み良さ、  
財政健全度、子育てのしやすさで「暮らしやす  
い」「発展力のあるまち」として、全国トップク  
ラスの評価をいただいているところです。また、  
製造品出荷額等の中核市比較でも上位で、工業都  
市としての側面もあります。ライトライン沿線に、  
清原や芳賀の工業団地もかかえております。

### 宇都宮市が目指すまちづくり（SSC・NCC）

SSCはスーパースマートシティのことです。  
100年先も発展し続けるまちということで、地域  
経済循環社会（経済）、地域共生社会（社会）、脱  
炭素社会（環境）の3つの社会によって「夢や希  
望がかなうまち」にしていきたいということです。  
この土台となるのが、ネットワーク型コンパクト  
シティ（NCC）の形成です。中心市街地だけで  
なく、各周辺地域の郊外の地域拠点にまちの機能  
を集約し、その拠点を利便性の高い公共交通で連  
携しようということです。鉄道、バス、ライトラ  
インなど広域性を持つ「基幹交通」と、身近な生  
活を支える「地域内交通」、デマンド交通等、階  
層性を持った「公共交通ネットワーク」を作り、  
子どもから高齢者まで誰もが安全で快適に移動で  
きるまち、外出によって健康に・ウォークブルな  
まち、環境負荷の少ないまち、これが宇都宮の目  
指すまちの姿です。公共交通ネットワークを構築  
するにあたっては、大きく4つの取組があります。  
①基幹公共交通の整備②バス路線の充実③地域内  
交通の整備④交通結節機能の強化です。市長がよ  
く「魚の骨」に例えています。基軸となる基幹公  
共交通としてライトラインが東西に走り、小骨と  
いうか、トランジットセンター（乗り換え施設）  
に2次交通のバスを走らせ、その間を地域内交通、  
デマンド等で埋めましょうということです。

### ライトラインの事業概要

LRT（Light Rail Transit）の特徴として、  
①専用空間を走行するため、時間に正確。定時  
制・速達性がある②騒音や振動が少なく快適③車  
両の床が低く平ら、バリアフリーに優れている④  
他の交通手段と同じ高さ（道路上）なので、連携  
がスムーズ⑤個性的で洗練された車両デザインは  
「まちのシンボル」に。があります。

JR宇都宮の東口から芳賀、高根沢工業団地の  
終点まで約14.6kmのルートで、ベルモール辺り  
までは幹線道路と併用走行区間となっております。  
それを過ぎると専用走行区間となり、青陵高  
校前からまた幹線道路と併用走行区間となります。  
2年後の供用開始予定で、平石停留場の北側に、  
アーバンスポーツを楽しめる施設、飲食店、農産



物直売等を加えた公園を作っているところです。

事業概要をまとめますと、着工が2018年5月で開業が2023年8月26日。営業キロ、約14.6km。停留所が19か所。導入車両17編成（車両長29.52km）。車両定員約160人。一日の利用見込みは、最終的には平日16,000人、土日・祝日5,500人ですが、今はその8掛けで計算しています。運転最高速度は40km（軌道法）。運転時間帯は午前4時台から午前0時台で、JR宇都宮駅の新幹線の始発、終電に対応しています。開業当初、ピーク時8分間隔、オフ時12分間隔で運行。整備費ですが、東側に関しましては、事業費は684億円（国補助326、市町等358億円）です。そのうちの宇都宮の約300億円をどう払っていくかですが、市債を発行し20年間かけて償還していきます。トランジットセンターですが、停留場19か所のうち5か所（JR東口、バルモールの前、平石、清原、芳賀工業団地の管理センター前）に設置しています。

#### ライトラインの事業スチーム

LRTの事業は「公設型上下分離方式」という新しい事業方式を採用しています。平成19年に施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、宇都宮市と芳賀町が車両やレール等を整備・保有し、宇都宮ライトレール(株)が事業運営を担います。宇都宮ライトレール(株)の出資団体は宇都宮市と芳賀町で51%、後は、商工会議所、銀行、経済団体、関東自動車等です。ライトラインの車両の特徴ですが、車椅子のスペースが2か所ありバリアフリー性を高めている、フリースペースを設置しベビーカーや大型荷物の持ち込みの需要に対応している、すべての扉にICカードリーダーを設置している等があります。また、トータルデザインということで、LRTデザインコンセプト「雷都（ライト）を未来へ」に基づいて統一感のあるデザインとなっています。「雷都」については、栃木、宇都宮は雷が多く、災害もありますが、雷に伴う雨によって恵みも多く、ありがたい雷様として雷をコンセプトにいただいております。シンボルカラーは「黄

色」で、稲妻や雷を受け豊かに実った稲穂をイメージしています。これは車両だけでなく、停留場やお配りしたパンフレット等にも使われています。このデザイン性が評価されてグッドデザイン賞もいただきました。

#### ライトラインの開業後の状況

約5か月過ぎて190万人を超え、今週、来週のうちには200万人になりそうです。利用者が多く、停留場の駐車スペースも増設しました。昨年、餃子祭りに合わせて一日乗車券を販売開始し、好評をいただいています。いろいろな取り組みによってサービス向上をしています。

課題もあります。一つは、自動車との接触事故で、5件発生しています。対応としまして、警察、会社、市・町で「緊急対策会議」を開催し、事故防止策を協議しています。市民の皆様への安全安心を留意して営業しているところです。二つ目の課題は電車の遅延です。現金の利用率が多くて時間を要することがあるため、ICカードの利用促進や事前の両替を呼びかけています。

#### ライトライン導入の効果

「宇都宮市の産業連関表」を用いて試算すると、第1次、第2次効果併せて約900億円の経済効果があるとしています。市の人口はピーク時から比べると約5年で5千人減少しているのですが、LRT沿線を見ると、8%増えています。高層建築物の建築確認申請数の割合も高いです。地価公示価格も上がっています。民間調査で賃貸物件の問い合わせ件数も増えているとのこと。しもつけ新聞によると、首都圏の中で宇都宮が目目され、検索されているとのこと。

#### 駅西側導入検討状況

駅西側に関してですが、今はいろいろな検討がされており、2030年代前半の開業を目指しております。経済効果は約810億円と試算されているところです。  
※参考資料としてパンフレット等の配布がありました。